



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第10号

笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて ほげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議
瑞浪市教育委員会社会教育課
TEL68-5281（総合文化センター内）

〔編集〕 瑞浪市青少年育成市民会議
広報部会

第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会



感謝状の贈呈



明世日吉小野球スポーツ少年団発表



陶陸上スポーツ少年団発表



稲津町青少年育成町民会議発表

◇第2回瑞浪市青少年育成市民会議

平成29年2月19日（日）

青少年育成に貢献された方への感謝状の贈呈、四部会の活動報告、青少年活動団体、モデル地区の実践発表が行われました。実践発表では、青少年の社会参加を通して地域の活性化を図るという取組が紹介され、会場の皆さんの共感を呼びました。

【感謝状受賞者の紹介】

- ・酒井 智浩（釜戸町）…長年にわたり小中学生にソフトボールを指導していただいています。技術面のみならず礼儀作法等心の育成に努め、地域の青少年の健全育成に貢献されました。
- ・にこにこ会（陶 町）…長年にわたり地域の祭り、「ふれあい広場」にて手作りのおにぎり、カレーライス等を提供し、青少年が行事に参加しやすい環境をつくるなど、地域の活性化と青少年の健全育成に寄与されました。

〔敬称略〕

中学生と語る会

☆土岐地区…H28・11・13（日）於：瑞陵中学校

☆明世地区…H28・11・26（土）於：サイエンスワールド
市民体育館

◇土岐地区 今回初めての試みです。中学生13名、地域住民12名の参加。まずは校舎内の参観をしていただき、簡単なレクリエーションの後、会議室にて交流会を行いました。以下会話の一部です。

〔土岐地区の好きな所、行事は？〕

*山がたくさんあって自然が豊かなところ。川の音がよい。化石、笹踊りやバサラが有名。

〔家でどんなことを話しているか？〕

*テストのこと、部活のこと。勉強や進路のこと。

〔ケータイ・ネット・スマホの使用についてはどうか？〕

*有料ゲーム、ラインは使わないようにしている。

*テストの点数が悪かったら取り上げになる。使用時間を夜9時までと決めている。

〔昔の学校の様子はどうでしたか？…中学生より〕

*給食はご飯がなくパンだけだった。週に1回コッペパン。1学年4クラスで運動会は4チームの対抗戦だった。

*お寺の地藏祭りは中学生が企画運営していた。夏祭りでは1つのブースを担当するとよいのでは？



◇明世地区 今回で4回目の実施となります。前半はサイエンスワールドでの七宝焼体験、後半は市民体育館での交流会を行いました。参加者は中学生14名、地域住民26名。以下、中学生の感想をまとめてみました。

.....

*七宝焼づくりをしながら地域の人と気軽に会話ができて楽しかった。地元にあるサイエンスワールドを久しぶりに訪れてよい機会だった。

*「将来もこの町に住みたいですか？」と聞かれたが、親子2世帯で住めるといいなとは思っている。

*地域の行事など、もっと中学生にPRしてもらえるとよい。

*普段あまり話したことがない方にも声をかけてもらった。話し合いでは身近な話をふっていただき、楽しかった。

*時間が短くて自己紹介程度で終わってしまったのが残念。

*「進路は誰のものでもない。自分の人生。自分で選んで生きていってほしい。」「やればやっただけ得るものはある。今日の七宝焼体験と同じ。」という先輩（＝大人）の言葉が印象的だった。



フレッシュトーク in 瑞浪 (高校生と語る会)

H28・11・20 (日) 於：瑞浪市総合文化センター

今年度の「高校生と語る会」は『18歳選挙権を考える』をテーマに、市内の高校生と市民会議の皆さん約70名の参加を得て開催しました。冒頭、安藤八恵乃瑞浪市選挙管理委員長より、「瑞浪市の18・19歳の投票率が県下でトップだったこと、今日の会はとても意義深いものであること」とのご挨拶をいただきました。

☆初選挙、行ってきました。

- ・公約を見て候補者を選択するのが大変だった。
- ・新聞、インターネットで情報を集めるようにしている。
- ・ネットやマスコミの情報はしっかりと見極め正しく判断することが大切だ。
- ・事務の人、立会人の方に見られてかなり緊張した。
- ・学校では模擬選挙という形で、本物の投票箱を使って投票の練習をした。
- ・これからの選挙…楽しみでもあり不安でもある。投票には行くつもりだ。



☆コト・ラファエル君の主張を聞いて

- ・中学生にしてこれだけの考えをもっていること、意識の高さに驚いた。
 - ・日本は恵まれている。大切な一票を無駄にしてはいけないと思った。
 - ・選挙権を手にした歴史の重みを改めてかみしめた。
- ※今年度瑞浪市主張大会最優秀賞「一票がつくる未来」の感想を交流しました。

☆先輩からのアドバイス

- ・少子高齢社会の今、若者が選挙に行かないと若い世代の声が政治に届かない。
- ・期日前投票は昔と比べてし易くなってきた。
- ・たかが一票、されど一票だ。「棄権する権利」という言い方はおかしい。
- ・候補者の見た目、かっこよさで選んでしまう恐れはないか。→政策を聞き比べてみることにしよう。
- ・市政で言えば、「議会ちゃんねる」という広報を参考にすることもできる。



青少年の参加で

「地域活動部会」開催！

H28・11・19（土） 於：瑞浪市総合文化センター

各町民会議にて直接青少年育成にご尽力いただいている皆様に参加いただき、その活動の様子を交流しました。夏祭り、地域の運動会、文化祭等に子どもたちがいかに参加し、活躍の場をもてたか、成果と課題は何か等、活発に話し合っていました。



☆学校や他組織との連携、協力体制が不可欠だ。

- ・「生徒を地域で活動させてください。」と中学校から申し出を受けており、助かります。
- ・ボランティア組織を立ち上げている学校もあります。
- ・学校、まちづくり推進協議会、公民館と協力して夏祭り、文化祭などの運営に当たること、中学生の参加が得られやすくなりましたね。

☆伝統行事の継承という形で継続的に参加できている。

- ・土岐町鶴城の笹踊りは毎年中学生が演じています。最近では少子化の影響で小学校高学年の子も踊ります。
- ・大湫の創作太鼓、土岐町の猿子村祭りも若者に支えられています。

☆任せる部分を多くすることで、責任感、自己充実感をもたせることができる。

- ・文化祭の舞台の部、町民運動会などの司会進行も中学生に任せたことで成功しています。
- ・お化け屋敷や忍者屋敷の運営、ふれあい映画館のチケットのもぎりなど、小さな仕事でも若者が活躍してくれると、大いに盛り上がります。

☆学校統合により、今後の学校と地域とのかわり方を見つめ直す必要がある。

- ・青少年育成にとっても小学校校区が地域の核となっています。中学校の統廃合の影響を心配しています。
- ・小学生以下は地域行事への参加が期待できるが、企画運営からの関わり、ボランティア参加となると中学生の力を必要とする。合併の影響が出るのではないか。



地域の活性化を！



川の生き物調べ（大湫地区）



防災運動会（土岐地区）



夏祭り準備（日吉地区）



清掃ボランティア（陶地区）



釜子連お面大会（釜戸地区）



七宝焼き体験（明世地区）
～「中学生と語る会」～

瑞浪地区青少年育成町民会議は今！

「家庭」「地域」「学校」の連絡協議会として第1回総会を開催してから3年が経ちました。各区の年間行事情報の共有から始まり、今年も3地区7行事に中学生ボランティアたちが参加し、明るく積極的に活動してくれました。基本、地域の行事は地域が募集するのですが、学校側の募集への温かいご支援のおかげで子どもたちにも地域行事にボランティア参加するムードはどんどん高まりつつあります。

今後もいっそうこのトライアングルの関係を深め、子どもたちの地域ボランティアとしての活躍をとおして、大人も一緒に多くを学べたらと願っています。



「あいさつで町に笑顔の花ひらく」

～青少年育成活動モデル地区活動報告～（稲津町青少年育成町民会議）

稲津町の青少年は、稲津町民の手で「みとめて ほめて はげまして～みんなの力で健やかに～」を合言葉に活動しています。あいさつ運動、毎週行っている青パト隊の巡回、花いっぱい運動など、活動は地味ですが、目的は地域のおじさん、おばさんが子どもたちをいつも温かく見守っているよというメッセージを伝えることにあり、目には見えませんが青少年の健全育成につながっています。



☆あいさつ運動
(町民会議主催、年6回実施)



☆花いっぱい運動
(まちづくり推進協議会主催、年2回実施)



☆中学生の活躍 (ふれあい映画館)



☆中学生の活躍 (町民ふれあい大運動会)

いきいき子育てふれあいトーク

10月19日(水)19時より、家庭教育部会主催により「いきいき子育てふれあいトーク」が開かれました。当日は家庭教育部会の先輩で、元市P連母親委員会の役員さんも参加していただき、子育ての先輩としての意見もいただきました。

当日の合言葉は

「茶話会形式でくつろぎながら」

「子育ての先輩ママを交えて」

「ゆるゆるトークでリフレッシュ」です。

家庭の母親、父親の立場として、学校や幼稚園の先生、地域の大人としてお互いに伸び伸びと意見交換することができました。来年度も是非実施をとの声がありました。



◎ケータイ・ネットの問題について

- ・中学生…ゲームばかりやっている。(勉強時間は10分~20分)受験生なのに心配。いつやる気スイッチが入るのか?
- ・友達からメール・ラインが来るとすぐに返さなければならぬ→今の子は大変。
- ・母親自身が育児中にゲームをしている。親のスマホ中毒が問題。
→(特に)母親からの声かけによって言葉を習得していく幼児期だが悪影響が心配。人と関わることの苦手な子が増えてきた。(しゃべらなくても済んでしまう状況)
- ・幼稚園でノーメディアデーを実施したが、「こんなにも会話がはずむとは思わなかった。」「家族でトランプゲームをしたりして楽しく過ごせた。」との感想が多く寄せられた。
- ・バスの中でゲームに夢中でお年寄りに席を譲らない等、モラルが問題になっている。
- ・バーチャルの世界に浸ることで、自分自身で考える力が弱まっているのではないか。心が、脳が壊れていくという危機感をもっている。



◎進路問題について

- ・昔は親の意見を聞いて進路を決めたり、知人の紹介で職についたりすることもあった。今の子は職場体験等、進路についての情報を多く得られる状況にある。
- ・子どものうちに「好きなこと、やりたいこと、夢」をしっかりとせたい。

◎いじめ問題について

- ・身体的特徴(自分自身ではどうにもならないこと)についてからかたり、暴言を吐いたりするのはつらい。
- ・「お前ちくったやろう」と言われるのが嫌で、また、思春期特有のプライドによりなかなか親に言わないことで発見しにくい状況がある。
- ・学校としては、教師がいじめの把握、予防措置をとるよう努力しているが、いじめにあったらすぐに報告して欲しい。(まず担任に。→話しやすい人なら誰でもいい[学年主任、保健の先生…])ので遠慮せず。)
- ・いじめている子は遊び感覚でやっている。その子が困っているのを楽しんでいる。「ばれなければいい」と思っている。→きちんと指導をして「こんなことをしてしまった。」と気付かせ、反省させる必要がある。
- ・学校は担任一人に抱え込ませないで、チームとして動くようにしている。ちょっとした悪口でも本人が苦痛と感じれば「いじめ」として把握・認識するようになっている。



◎その他

- ・何でも自動化、すぐ人にやってもらう時代
→世の中が便利になり過ぎたことで、手先の器用さが失われているように思う。(※センサーで水の出る水道、自動掃除機等々。)
- ・日常生活において、あえて困らせる体験をさせることが必要。(お手伝い体験)箸を並べる。茶碗を持つ。お茶を注ぐ。
→生活の中で覚えていくこと。
- ・全体的に親が過保護になっている。(親がすぐ助けてしまうので、自分で危険を察知しない子、自立できない子が増えている。)

◆「無ガム中大作戦」～駅前路面清掃活動～

12月4日（日）、JR 瑞浪駅前の道路などに付いたガムをはがす「無ガム中大作戦」が行われました。環境改善部会主催によるもので、昨年度に引き続き2回目の実施となります。当日は、部会員の他、地元の中学生のボランティアを含めて70人程の参加となりました。

ベンチやバス停の路面、点字ブロック、地下道の階段にこびり付き黒ずんだガムを、ワイヤブラシやへらなどを使って取り除きました。

昨年度から参加している方からは、「今年は前よりも要領が分かってうまくはがせました。

バサラカーニバル来場者のおもてなしにもなったと思います。」「ガムを気軽に捨てないで欲しいです。」…という声が聞かれました。



◆「子ども・若者育成支援強調月間」街頭啓発活動

11月27日、市内3会場にて「子ども・若者育成支援」の啓発活動を行いました。当日は、市民会議の皆さんの他に、保護司会、更生保護女性の会、酒類小売販売業組合、東濃西部少年センター事務局・指導員、市内高等学校 MS リーダーズの協力をいただきました。



「パロー瑞浪中央店」にて



「ピアゴ瑞浪店」にて



「きなめた瑞浪」にて

有害なインターネット環境から児童を守りましょう！

☆平成29年度 主な年間行事予定

- 5月21日（日） 第1回青少年育成市民会議
- 6月18日（日） 瑞浪市主張大会
- 12月 3日（日） 高校生と語る会
- 2月18日（日） 第2回青少年育成市民会議

☆編集後記

今年度は、拡大地域活動部会の開催、選挙権問題を採り上げた高校生と語る会、土岐地区における中学生と語る会の発足等、新しい取組が多く、本誌も増頁で対応いたしました。この成果を次年度の活動に生かしていきたいと思っております。